

2019 春期留学準備 IELTS 講座 Q&A

Q1: 講座の全日程に出席することができない、それでも受講可能か？

まず、欠席理由としてアルバイト、旅行、部活・サークルは認めません。それ以外であれば、検討します（例：学会発表、法事等 証明の提示を求めることあり）。この上で、2日以内の欠席であれば認めます。もし、受講定員25名を超えた場合、全日程出席できる学生から優先的に受講許可を出します。また、講座費用は欠席がある場合でも全額支払うことになります。

Q2: 講座開始までに IELTS が受験できません。それでも受講可能か？

交通費はかかりますが、講座開始前に大阪や東京で受験できないか一度検討してください。または、Late Registration と言って、受験申込日を過ぎていても、受験会場の空きがあれば、申込むことも可能になっています。

それも難しい場合は、学生のやる気とその学生にとっての講座の必要性で判断します（各大学で判断して構いません-全日程出席できるやる気のある学生であれば、許可して良いです）。ただし、25名以上の申込がある場合は、事前受験できている学生から優先に受講許可を出します。

Q3: 講座開始までに、IELTS スコアが提出できません。

講座開始までに受験できていれば、全く問題ありません。スコアが届き次第、コピーを所属大学の担当部署、または、名古屋大学海外留学室に提出してください（各大学は、学生から受け取りましたら、スキャンして海外留学室までお送りください）。

Q4: TOEFL-iBT スコアは持っているのですが、講座前の IELTS 受験は必要ですか？

全く異なる試験のため、IELTS を受験してください。その理由は、IELTS を講座前後で受講してもらうことで、講座を通して学生の語学向上率を図る目的があります。TOEIC、英検も同様です。

Q5: IELTS スコアがすでに 6.0(6.5 以上)にあるのですが、受講可能か？

可能ですが、定員25名を超えた場合、6.0に満たない学生から優先的に受講許可を出していきます。

Q6: (三重大・愛教大・岐阜大)の学生:講座中に名古屋大学に通学するために、学生定期のようなものは発行できますか?

できません。自費で名古屋大学に講座期間中は通学してもらいます。

Q7: 講座の費用はどのように払うのですか?

受講者確定後、指定日までに銀行振り込みをしてもらいます。受講許可メールと一緒に振込情報を学生に送付します。

その際は、学生氏名で振り込んでください。詳細は、受講許可を出してから学生に連絡します。

Q8: 講座受講料の入金後、講座に出席できなくなりました。返金できますか?

入金後は、いかなる理由があっても返金できません。そのため、しっかりとスケジュールを確認するとともに健康管理をして、講座受講に臨んでください。

Q9: 4大学ごとの割り当て人数はあるのか?

特に決めておりません、名古屋大学生以外の3大学学生の受講を幅広く受け入れていきたいと思えます。25名としていますが、それ以上の受講人数が想定される場合は、2クラス編成も考慮していきます。

Q10: 4大学の申込者をどのように受付けるか?

名古屋大学では、以下のオンライン申込で名大生の受講申し込みを受け付けます。他3大学もこのオンライン申込で受け付けることも可能ですが、各大学で申込情報を管理したい場合は、オンライン申込と同じ学生情報を申込締切日までに、名古屋大学海外留学室に送っていただけますでしょうか?名古屋大学のオンライン申込を活用して、申込状況を確認したい場合は、その都度海外留学室にお問い合わせください。

受付サイト：https://www.ics-com.biz/well_form/sao/entries/add/100

問い合わせ先：

名古屋大学国際教育交流センター海外留学室

・ 052-789-4594 ☒ abroad@iee.nagoya-u.ac.jp